



明治6年7月23日開校

～自分の可能性を広げる子に～

福翔

二戸市立福岡小学校 学校だより
発行日 R7. 10. 03
第10号 (文責：筒井裕一)
二戸市福岡字下川又15
電話 0195-23-6155

福翔祭で「4つの心」を育てるために

福翔祭の取組を通して、子どもたちのこんな姿が見られるようになれば「福翔祭は成功！」ということになります、というお話を「福翔」8号と9号でお伝えしました。その姿は次のとおりです。

| | | |
|--------------------|--------------------|-------------|
| 「みんなのために頑張ろう」 | 「この仲間と一緒にの学年でよかった」 | 「自分ならこうするな」 |
| 「あんな風に自分も表現してみたいな」 | 「今度やってみよう」 | |
| 「あんな風にできるようにがんばろう」 | 「これが私の良いところなんだ」 | |

こうした姿（心情）は、一体いつ見られればいいのでしょうか。それは、福翔祭に向けて練習に取り組んでいるときと、福翔祭当日（本番）や福翔祭後（本番後）の2つが考えられます。この2つのそれぞれの場面で引き出したい姿（心情）は以下ようになります。

練習期間中

「みんなのために頑張ろう」
「この仲間と一緒にの学年でよかった」
「あんな風に自分も表現してみたいな」
「自分ならこうするな」
「今度やってみよう」
「あんな風にできるようにがんばろう」

本番から本番後

「この仲間と一緒にの学年でよかった」
「今度やってみよう」
「あんな風にできるようにがんばろう」
「これが私の良いところなんだ」

<周りの大人にできること>

では一体我々大人がどう関われば、子どもたちからこのような姿（心情）を引き出すことができるのでしょうか。いくつか例を挙げてみます。

【練習期間中】

◇「みんなのために頑張ろう」の場合

まずはお子さんに、練習の様子を聞いてみることです。そして「発表はみんなで作り上げるものだもんね」「一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たすから、まとまりのあるの発表ができあがるんだよね」というような声をかけて、みんなのために頑張ることの大切さに気付かせてあげたいです。

<裏面に続く>

◇「自分ならこうするな」の場合

これが一番難しいと思われます。「あんな風にできるようにになりたい」なら、いい演技・発表を見せ、それをモデルにすることで何とかできますが、「自分ならこうする」はそうはいきませんから。まずは、お子さんと一緒に台本を読む（合唱なら歌詞を読む）こと。そして一緒にそのイメージを膨らませる。「ここはどういう状況なんだろう？」「どんな景色が目に見えるかな？」「一番伝えたいことって何だろう？」と問いかけ、お子さんが何か言ったら「なるほどね」と受け止めながら、一緒にその作品のイメージを広げていくことです。

表現力が十分育っていない小学生ですから、イメージ通りに表現できなくて構いません。引き出したいのは「自分ならこうする」という考えです。上手な表現ではありません。

【本番から本番後】

◇「この仲間と一緒にの学年でよかった」

福翔祭が終わってお家に帰ったら、ぜひお子さんの学年の出し物の良かった点を、照れずにお子さんに伝えてください。我が子の良かった点と周りの子の良かった点の両方を伝えてあげたいです。その際、具体的であればあるほど効果的です。お子さんの良かった点を伝えたときに「緊張してたら〇〇ちゃんから『頑張って』って言われた」というようなエピソードが飛び出したら最高です。すかさず「いい学年（学級）だね」と伝えてあげることもお忘れなく。



◇「これが私の良いところなんだ」

「自分にいいところがある」と答える子どもの割合は、世界で日本が一番低いそうです。これって、言い方を変えると「自分にはいいところがない」と思っている子が世界一多くいるのが日本だということ。これでいいはずはありません。子どもたちが、自分らしく輝いて生活していくためにも「自分のいいところ」を自覚させてあげたい。そのためには、周りの大人からの肯定的評価（プラス評価）が不可欠だと言われています。福翔祭の発表を見て感じた「我が子の良さ」をきちんと言葉で伝えてあげてください。良さは何もセリフを言っている時に限ったことではありません。ステージ上で出番を待っているときや入退場のときなどにも、その子の良さはあるはず。発表を鑑賞する際は、気が抜けませんよ。

紹介したのは例にすぎません。お子さんのことを一番よく分かっているのがお家の方です。お子さんに最もよく伝わる言葉で、ぜひ語りかけてあげてください。これは、子宝に恵まれたからこそできること。幸せの証です。